

【4月の気象】

4月になると花木や草花が色とりどりの花を咲かせ、当台で観測している道後公園の桜も満開（平年は4月3日）となる頃で、やわらかい春の陽射しとともに暖かくなっていく季節となります。松山市の4月の平均気温の平年値（1991～2020年）は「14.8」で上旬から下旬にかけて3.2 上昇しています。

また、瀬戸内地方では気温が上昇する反面、雨量が少なく、湿度も低くなるため、空気が乾燥し火災の発生しやすい気象条件となることが多くなります。

一方、低気圧が3～4日の周期で西日本を通過するようになります。低気圧が日本海を発達しながら東へ進む場合、南よりの強風が吹きやすく、低気圧からのびる寒冷前線が通過する時には、突風、竜巻、激しい雨、ひょうなど激しい現象が起きることがあります。また、移動性高気圧に覆われて晴れた朝は、放射冷却現象によって気温が低下し霜が降りることがあり、農作物の管理に注意が必要です。

【台風経路図（実況と5日先までの予報）】

台風経路図（図1）では、台風（発達する熱帯低気圧を含む）の存在位置と進路予報が表示され、個別の台風の台風経路図において右下の（表示されていない場合は、右上のをクリックすると表示されます）をクリックすることで、位置や強度の実況や予報を表形式で確認することができます。

また、5日（120時間）先までに暴風域に入る確率の分布図（図2）、市町村等をまとめた地域ごとの時系列図（図3）を6時間ごとに発表します。なお、暴風域に入る分布図では、5日先までの積算確率と、3時間毎の確率を確認することができます。



図1 台風経路図の例

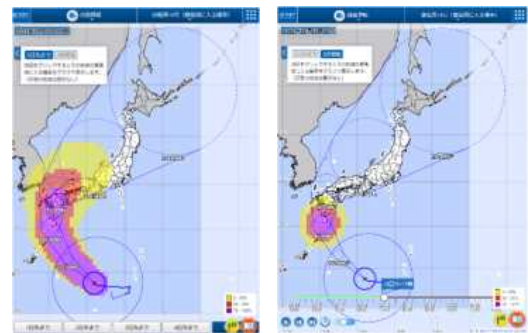


図2 暴風域に入る確率の分布図の例
（左：5日先まで、右：3時間ごと）

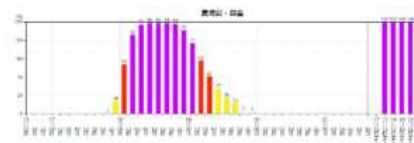


図3 暴風域に入る確率の例

<台風の実況及び予報>

・台風（発達する熱帯低気圧を含む）の実況

気象庁では、台風の実況（現在の位置や強さ等）を3時間ごとに発表します。台風の実況の内容は、台風の中心位置、進行方向と速さ、中心気圧、最大風速（10分間平均風速）、最大瞬間風速、暴風域、強風域です。

・台風（発達する熱帯低気圧を含む）の予報

気象庁では、台風の5日（120時間）先までの24時間刻みの予報を6時間ごとに発表します（1日（24時間）先までの12時間刻みの予報は3時間ごとに発表）。予報の内容は、各予報時刻の台風の中心位置（予報円の中心と半径）、進行方向と速度、中心気圧、最大風速、最大瞬間風速、暴風警戒域です。

台風情報（台風経路図）

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#5/34.488/137/&elem=root&typhoon=all&contents=typhoon>